

第2回ようこそ考古学

考古学Q&A

—考古学への質問に答えて(入門編)—

1. 考古学概説

- どんな学問ですか？
- 扱う時代は？
- 土器の破片で年代を特定するのは？

2. 発掘調査

- 発掘調査の基本行動(手順)
- 何でこんな穴があることが分かるの？

考古学とは

『通論考古学』←浜田耕作

考古学は過去人類の物質的遺物を研究する学
なり

『日本史広辞典』

過去の人類が残した様々な遺構・遺物の研究
によって人類の生活を復元し、その歴史を再構
成することを目的とする歴史科学の一分野

考古学とは

①人類の歴史を考える学問

時間：人類が地球上に出現したときから、現在の瞬間に至るまで

空間：世界全域が対象

恐竜：古生物学

化石人類：自然人類学・生物学、考古学

近現代：山下町居留地遺跡、汐留遺跡、
戦跡考古学

考古学とは

②人類が残したモノを扱う

モノとは、物質の上に残された人間活動の全ての痕跡を指す

代表例：土器、石器、家、墓、水田など

その他：石器製作の際に生じる石クズ

ゴミ捨て場からか発見される貝殻

人間が無意識に残した足跡など

考古学と文献史学

考古学の得意なところ

- ・文字資料が出現する以前の時代を扱うことができる
- ・庶民の生活や商品の流通など記録に残りにくい事柄を扱うことができる

考古学の苦手なところ

- ・ものとして残らない事柄は苦手
- ・明らかに出来るのは集団の歴史

考古学の年代研究

考古学において、モノの年代を決めることは、すべての調査・研究の出発点になる

年代の種類

- ・相対年代

→対象とする資料が複数である場合、「どちらがより古いものであるか」をさす用語

- ・絶対年代(実年代)

→対象とする資料が「今から何年前のものであるか」をさす用語

考古学における相対年代

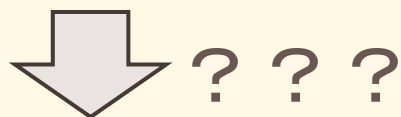
考古学では相対年代が基本。モノの相対年代を決めるには…

- ・型式学的研究
- ・層位学的研究

を行っている

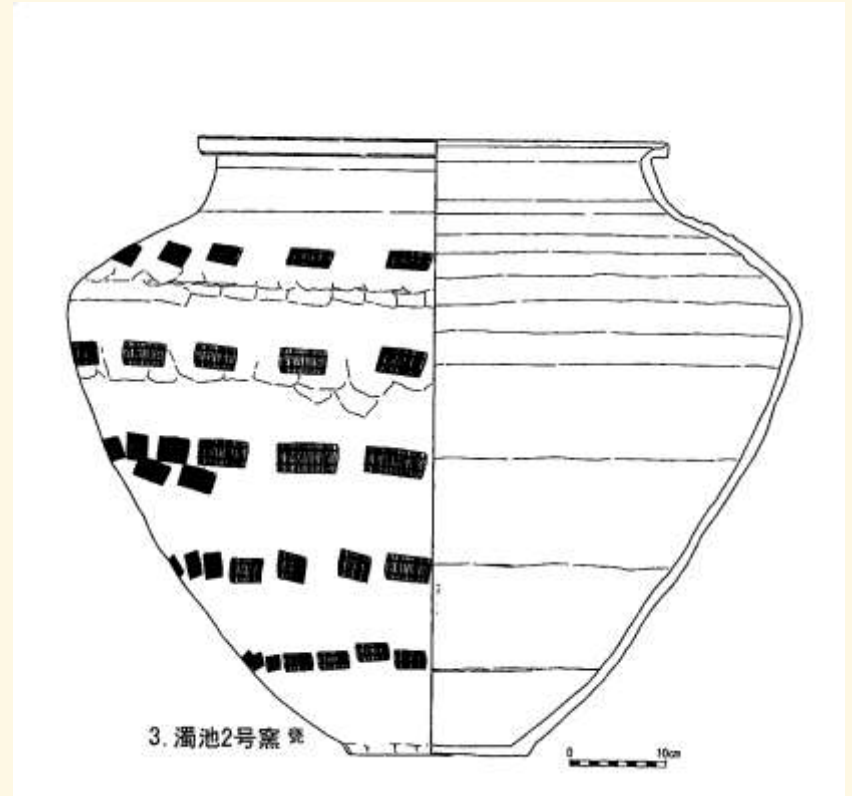
型式学的研究

考古学の資料を分類して型式を設定し、それらの型式を一定の原理に従って配列する研究。型式学的編成には生物学の進化論や痕跡器官の概念を援用する。

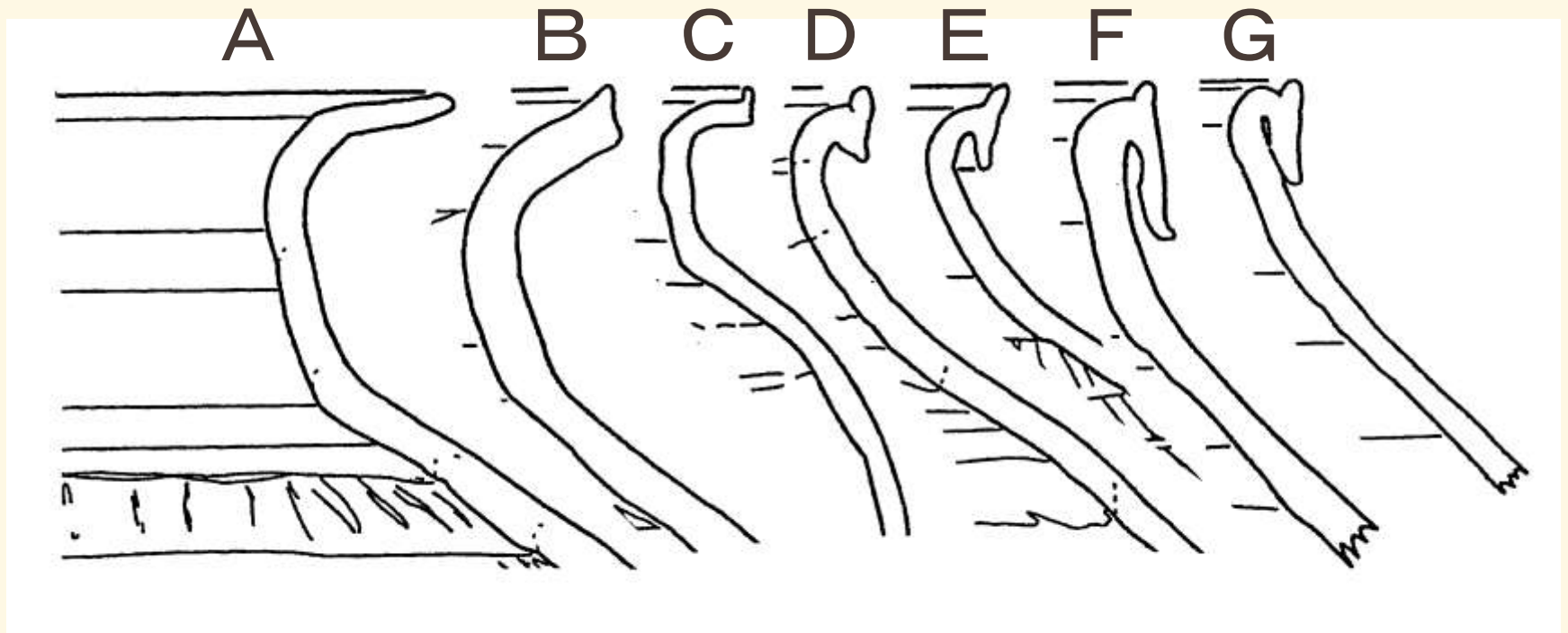


要するに、土器とか人類が常に作り続け、使い続けた道具は、長い間に必ず形態や装飾がある方向に変化を遂げていくから、逆にそうした遺物の型式変化の正しい序列を見定めることによって、遺物の時期差、つまり時代の変遷の序列を知る基準とすることができる。

常滑 甕



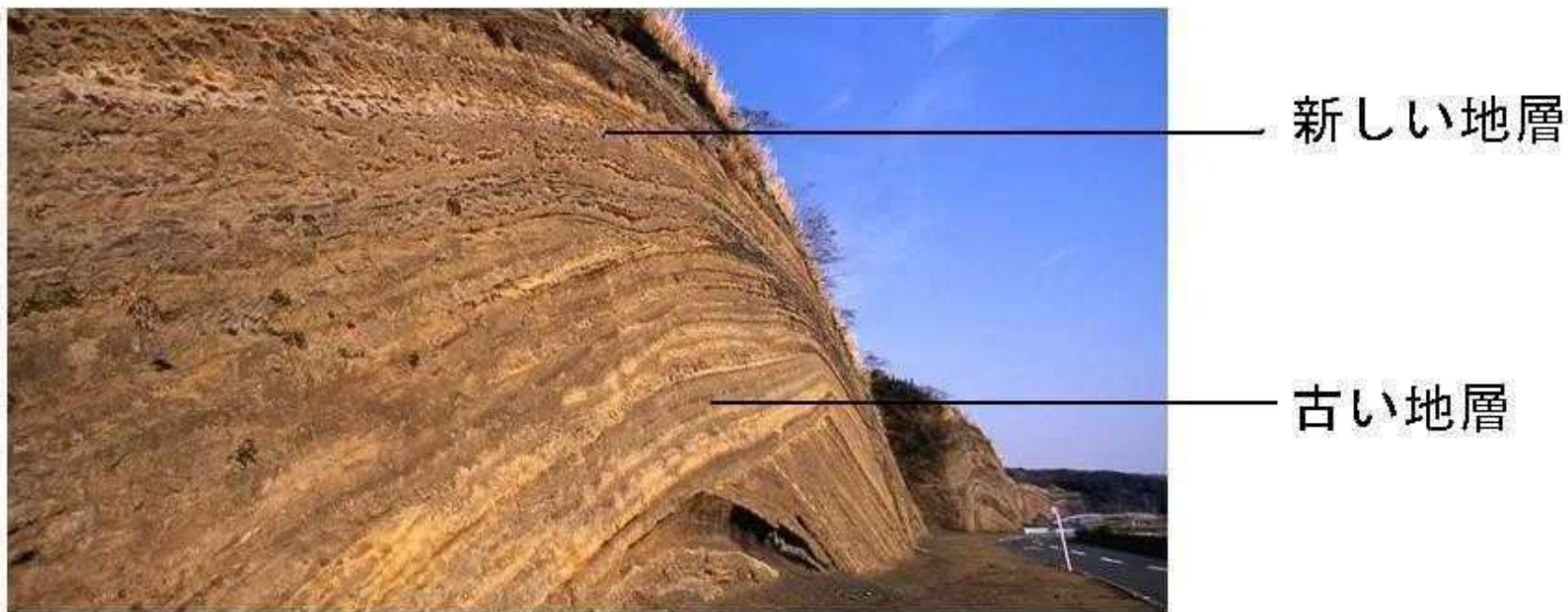
常滑甕口縁部の型式変化



- 変化は徐々に起こる
- A→GまたはG→A(型式学的変遷)

層位学的研究

乱されていない土層が上下に重なっている場合、下層が古く、上層は新しい



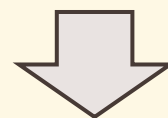
大島三原山の噴火で出来た地層

考古学の年代決定

	い	ろ	は
上層	D	D	E
中層	C	B	C
下層	A	A	B

① $A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow D \rightarrow E$

② $A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow E \rightarrow D$

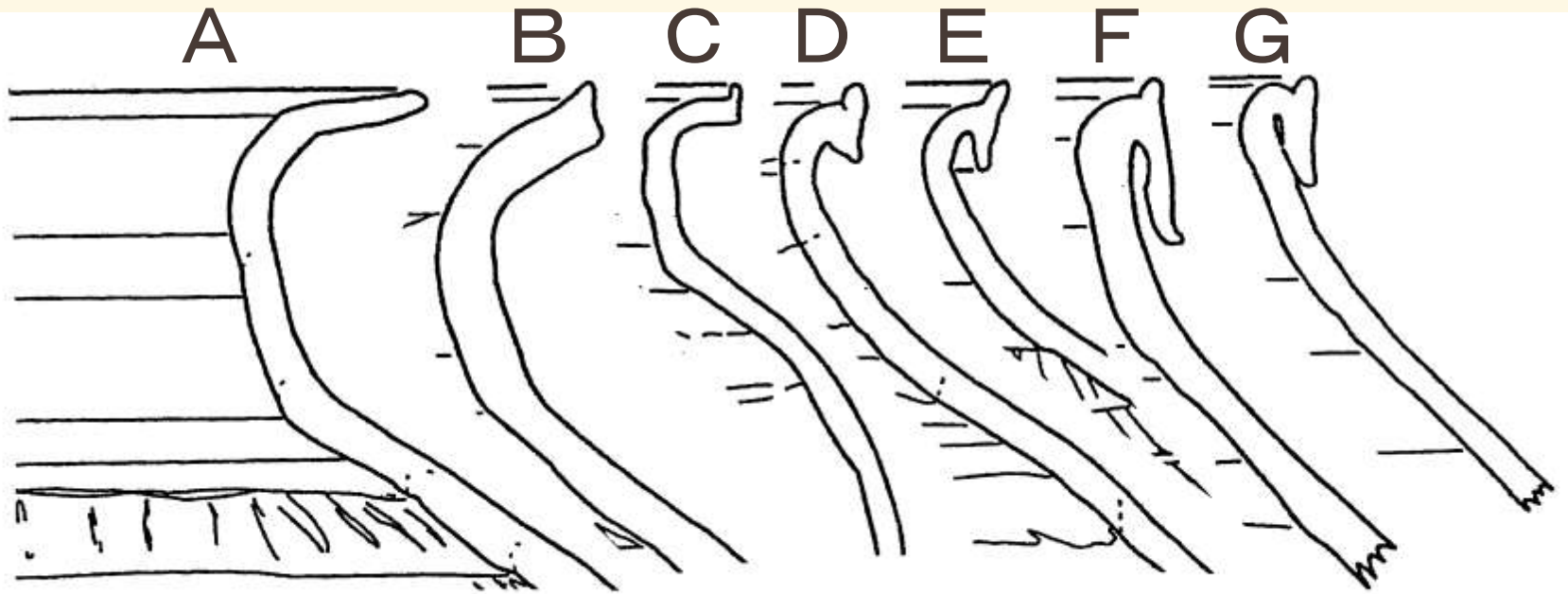


ここで、**型式変化**を利用する



$A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow D \rightarrow E$

常滑甕編年(中野2005)



A: 3型式 (1175~1190)

B: 4型式 (1190~1220)

C: 5型式 (1220~1250)

D: 6a型式 (1250~1275)

6b型式 (1275~1300)

E: 7型式 (1300~1350)

F: 8型式 (1350~1400)

G: 9型式 (1400~1450)

年代決定に必要なこと

考古学で年代決定をするには…

- ①モノの形、材質といった形態の変化を探る
- ②モノが占めていた空間的位置関係のデータ



位置関係のデータを欠いたモノは、美術的な価値があっても、考古学的な研究には役に立たない

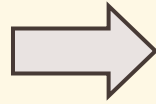


発掘調査による位置関係のデータが必要

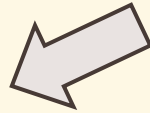
地層の堆積



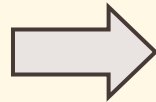
1. 灰色層堆積開始



2. 灰色層堆積終了



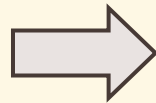
3. 赤色層堆積開始



4. 赤色層堆積終了



5. 黄色層堆積開始



6. 黄色層堆積終了

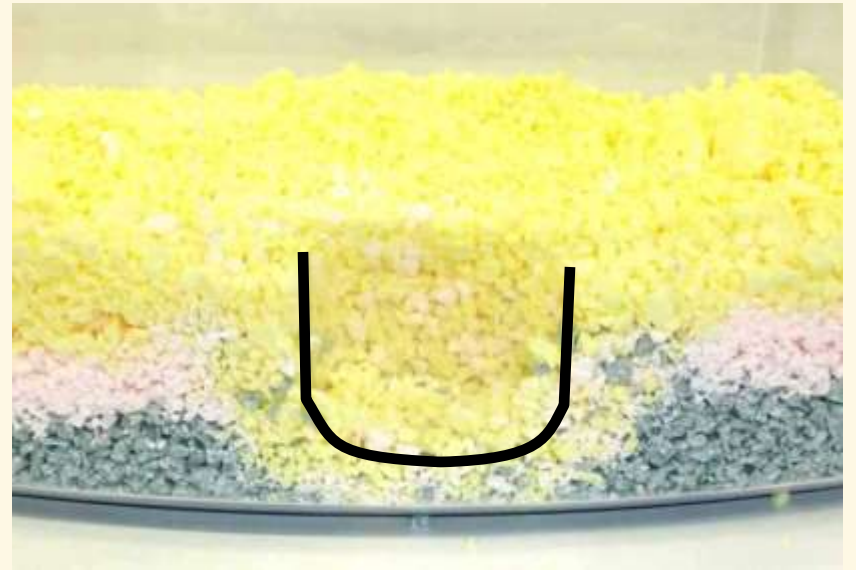
地層の堆積



7. 穴を掘る



8. 穴掘り完了(上から)



8. 穴掘り完了(横から)

地層の堆積



9. 穴が埋まる



10. 穴が埋まった(上から)

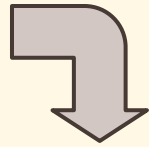


10. 穴が埋まった(横から)

地層の堆積



11. 青色層堆積開始



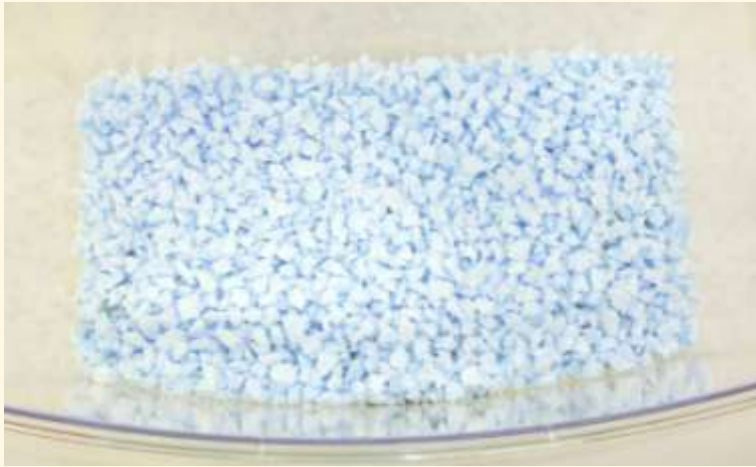
12. 青色層堆積終了

発掘の順序

発掘調査は、位置のデータを重要視する。それを実践するためには、新しい地層から古い地層へと掘ることが必要。つまり、**地層の堆積順序と逆の手順になる。**

※このとき、遺構の有無、遺物の位置に注意しながら掘り進める。

発掘調査



1. 調査開始前(上から)



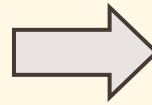
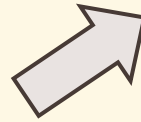
2. 第1層掘削開始



3. 第1層掘削途中(上から)



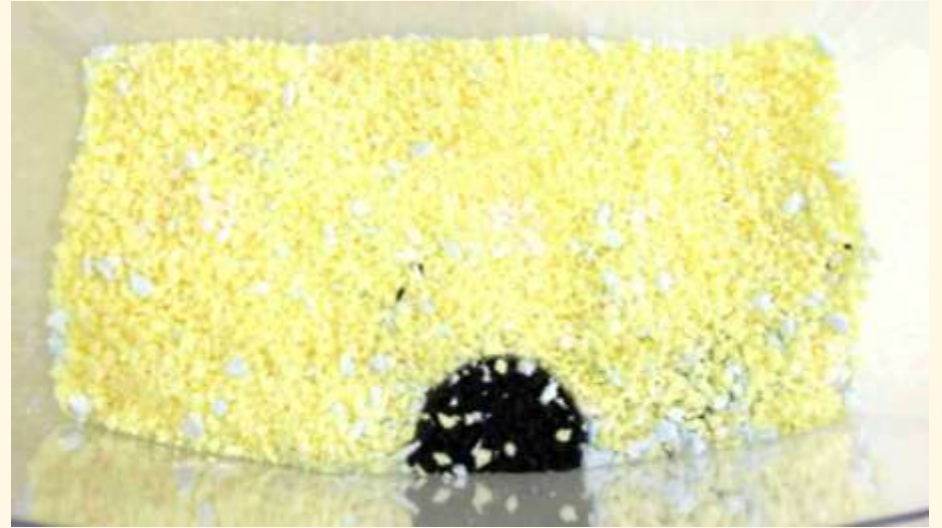
3. 第1層掘削途中(横から)



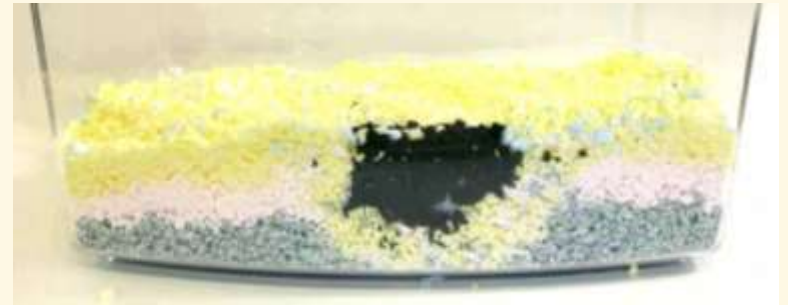
発掘調査



4. 何か発見？



5. 穴跡発見！（上から）



5. 穴跡発見！（横から）

発掘調査



7. 穴跡を完掘(上から)



6. 穴跡を掘削



7. 穴跡を完掘(横から)

おわりに

参考文献

大塚初重・戸沢充則・佐原眞編 1988『日本考古学を学ぶ』(1)
〔新版〕 有斐閣

近藤義郎・横山浩一ほか編 1985『日本考古学』1 研究の方法
岩波書店

中野晴久 2005「常滑・渥美系」『中世窯業の諸相』発表要旨集
全国シンポジウム「中世窯業の諸相」実行委員会

菊池徹夫 2007『考古学の教室 ゼロからわかるQ&A65』平凡
社新書387 平凡社